

レポート・ループリック（プロトタイプ版）

<p><b>課題</b></p> <p>※ループリックを配布する場合は、レポート課題の説明をこの欄に記入。</p>					
---	--	--	--	--	--

観 点	観点の説明	レベル1 「 かなり努力を要する 」	レベル2 「 努力を要する 」	レベル3 「 最低限は満たしている 」	レベル4 「 十分に満たしている 」
観点1 課題の理解とテーマの設定	課題に沿った、適切なテーマ設定ができています。	課題の意図を正確に理解しておらず、課題に関連する授業内容も意識されていないため、的外れなテーマが設定されている。	課題の意図や、課題に関連する授業内容などが意識されているが、理解が浅く、焦点が絞り切れていないなど、適切なテーマ設定ができていない。	課題の意図や、課題に関連する授業内容などが理解されており、適切なテーマ設定ができています。また、そのテーマを探究する必要性についても述べようとしているが、主観的な考えや経験に基づいた説明になっている。	課題の意図や、課題に関連する授業内容などが深く理解された適切なテーマ設定ができており、そのテーマを探究する必要性について客観的な根拠に基づいた説明をしている。
観点2 問いと主張	テーマに基づいた具体的な問いが設定されており、その問いに対応した主張が構築されている。	テーマに即した問いが設定されておらず（または、問い自体が設定されておらず）、結論として導かれた主張も感想や主観的な意見に留まっている（または、何が主張なのか読み取ることが困難である）。	テーマに基づいた問いが設定されており、結論として、主張が述べられているが、問いと主張が対応していない。	テーマに基づいた具体的な問いが設定されており、その問いに対応した主張が明確に述べられている。	テーマに基づいた具体的な問いが設定されており、その問いを探究する必要性も述べられている。また結論として、具体的で明確な主張が述べられている。
観点3 根拠の妥当性と客観性	議論全体を支える根拠として引用されている情報やデータは、客観性の高いものであり、信頼のできるものである。	議論の根拠となる情報やデータ等を全く示していなかったり、主観的な考えや感想が根拠として示されたりしている。	議論を支える根拠として情報やデータ等を引用してはいるが、根拠として不適切、または、信頼性の疑わしい情報（個人のブログやWikipediaなど）やデータ等が含まれている。	議論を支える根拠として、必要な箇所に適切な、かつ、客観性の高い情報やデータ等を引用しており、根拠の妥当性や客観性を示している。	議論を支える根拠として、客観性の高い情報やデータ等が複数示されており、説得力の高い論述ができています。
観点4 構成と論理展開	序論・本論・結論の構成にしたがって内容がまとめられており、序論から結論までが論理的に一貫している。	序論・本論・結論の構成に配慮せず、収集した情報を寄せ集めて記述しているだけで、論理的な繋がりがなく、一貫していない。	序論・本論・結論の構成にしたがってそれぞれの内容や情報をまとめようとしているが、記述すべき内容が含まれていなかったり、議論とは関係のない情報が含まれているなど、適切に記述されておらず、論理的に一貫していない部分がある。	序論・本論・結論に記述すべき内容が記述されており、それぞれの内容や情報、そして、序論から結論までが論理的に一貫している。	序論・本論・結論に記述すべき内容が記述されている。また、接続詞等を効果的に使用するなどしてパラグラフ同士の関係を明示できており、レポート全体の論理的な流れが明確に示されている。
観点5 文章表現	文体、文法、語彙、句読点、字下げ等に誤りや乱れなどがなく、主語と述語が対応した文が作られている。また、パラグラフごとに一つの内容が扱われている。	1つのパラグラフで述べたいことを読み取ることが困難であり、パラグラフの始まりを一字下げすることもできていない（字下げ）。また、文体、文法、語彙、句読点に誤りや乱れが多くみられる。文章の見直しが行われておらず、間違いが存在する。	文体、文法、語彙、句読点、字下げ等に誤りや乱れがみられる。また、文章が長過ぎる箇所や主語と述語が対応していない箇所がみられる。	文体、文法、語彙、句読点、字下げ等に誤りや乱れはなく、一文の主語と述語が対応している。また、1つのパラグラフで1つのピックを扱うという原則が守られている。	文体、文法、語彙、句読点、字下げ等に誤りや乱れはなく、1つのパラグラフで1つのピックを扱うという原則も守られている。また、読み手を意識した明快で読みやすい文で書かれている。
観点6 引用・参考文献の使用と引用の仕方	引用・参考文献が明示されており、出典の示し仕方も適切である。	引用・参考文献が示されておらず、文中での引用もないため、文献に基づく情報と執筆者の意見の区別がなされていない。そのため、剽窃(盗用)が疑われる書き方になっている。	引用・参考文献は示されており、文中の引用も行われているが、引用の仕方、出典や文献リストの書き方が適切に示されていない、または、書き方が統一されていない。	引用・参考文献から適切に引用し、ルールに従った出典の示し方、文献リストの書き方が行われており、文献に基づく情報と執筆者の意見の区別が明確になされている。	
観点7 形式	課題について指定された形式が守られている。	課題について与えられた指示（ファイル形式、文字数、提出期限、提出方法等）をほとんど満たしていない。	課題について与えられた指示（ファイル形式、文字数、提出期限、提出方法等）を満たしていない点がある。	課題について与えられた指示（ファイル形式、文字数、提出期限、提出方法等）を満たしている。	

プレゼンテーション・ルーブリック（プロトタイプ版）

<p><b>課題</b></p> <p>※ルーブリックを配布する場合は、レポート課題の説明をこの欄に記入。</p>					
---	--	--	--	--	--

観 点	観点の説明	レベル1 「 かなり努力を要する 」	レベル2 「 努力を要する 」	レベル3 「 最低限は満たしている 」	レベル4 「 十分に満たしている 」
観点1 問いと主張	テーマに基づいた具体的な問いが設定されており、その問いに対応した主張が構築されている。	テーマに即した問いが設定されておらず（または、問い自体が設定されておらず）、結論として導かれた主張も感想や主観的な意見に留まっている（または、何が主張なのか読み取ることが困難である）。	テーマに基づいた問いが設定されており、結論として、主張が述べられているが、問いと主張が対応していない。	テーマに基づいた具体的な問いが設定されており、その問いに対応した主張が明確に述べられている。	テーマに基づいた具体的な問いが設定されており、その問いを探究する必要性も述べられている。また結論として、具体的で明確な主張が述べられている。
観点2 構成と論理展開	序論・本論・結論の構成にしたがって内容がまとめられており、序論から結論まで論理的に一貫している。	序論・本論・結論の構成に配慮せず、収集した情報を寄せ集めているだけで、論理的な繋がりがなく、一貫していない。	序論・本論・結論の構成にしたがってそれぞれの内容や情報をまとめようとしているが、述べるべき内容が含まれていなかったり、議論とは関係のない情報が含まれているなど、適切に記述されておらず、論理的に一貫していない部分がある。	序論・本論・結論に記述すべき内容が述べられており、それぞれの内容や情報、そして、序論から結論までが論理的に一貫している。	序論・本論・結論に含めるべき内容が述べられており、また、接続詞等を効果的に使用するなどして前後の関係性だけでなく発表全体が論理的な流れで明確に述べられている。
観点3 根拠の妥当性と客観性	議論全体を支える根拠として引用されている情報やデータは、客観性の高いものであり、信頼のできるものである。	議論の根拠となる情報やデータ等を全く示していなかったり、主観的な考えや感想が根拠として示されたりしている。	議論を支える根拠として情報やデータ等を引用してはいるが、根拠として不適切、または、信頼性の疑わしい情報（個人のブログや Wikipedia など）やデータ等が含まれている。	議論を支える根拠として、必要な箇所に適切な、かつ、客観性の高い情報やデータ等を引用しており、根拠の妥当性や客観性を示している。しかし、それらの情報源について口頭でも十分説明しておらず、客観性を表現していない。	議論を支える根拠として、客観性の高い情報やデータ等が複数示されており、説得力の高い論述ができています。また、それらの情報源を文献リストに示すだけでなく、引用した箇所でも発表資料に明示し、かつ、口頭でも言及しており、客観性を表現している。
観点4 話し方と発表態度	使用する言葉、声の大きさ、発話の早さ、視線の向け方などが聴き手に配慮されている。	聴き手に配慮した言葉選び、声の大きさがなされておらず、発表が聞き取りにくく、また、視線も聴き手に向けられていない。	聴き手に配慮した言葉選び、声の大きさ、発話の早さ、視線の向け方のいずれかが不適切である。	聴き手に配慮した言葉を選んでおり、声の大きさ、発話の早さ、視線の向け方も適切である。	聴き手に配慮した言葉を選んでおり、声の大きさ、発話の早さ、視線の向け方も適切である。さらに、聴き手の注意や関心を引き付ける適度な身振り・手振りを加えて話すことができているなど、聴き手に伝えようという姿勢が十分に見られる。
観点5 質疑応答	発表内容に関する質問に的確に答えることができる。	発表内容に関する質問に対して、ほとんどあるいはまったく答えることができていない。	発表内容への質問に対する準備があらかじめなされており、概ね的確に答えることができています。しかし、より高度な質問が出た際に的外れな応答がみられる。	発表内容に関する質問に的確に答えることができている。また、より高度な質問に対しては、質問の意図をよく理解することに努めたうえで、誠実に答えている。	発表内容に関する質問に対して、誠実な態度で的確に答えることができている。また、より高度な質問に対しても、質問の意図を確認しながら的確な回答を返し、質問者および聴き手全体の理解を深めている。
観点6 発表資料（スライド）	聴き手が理解しやすいように、文字の大きさや図表の見やすさ、使用する色やデザインに配慮がなされている。	スクリーンに映し出された文字が小さすぎて、聴き手からよく見えない。また、文章ばかりで構成されていて、聴き手の理解が追い付かない。	見やすい大きさの文字が使われており、適度に図表も用いられている。しかし、情報量が多く、聴き手が理解しにくい。	文字や図表は見やすい大きさ・色で示されており、スライドの内容・デザインともに簡潔にまとめられていて、枚数も適切であり、聴き手が理解しやすい。	文字や図表は見やすい大きさ・色で示されており、スライドの内容・デザインともに簡潔にまとめられていて、枚数も適切である。その上で、各スライドのつながりがはっきりしていて、口頭説明の流れとも合致している。

観 点	観点の説明	レベル1 「 かなり努力を要する 」	レベル2 「 努力を要する 」	レベル3 「 最低限は満たしている 」	レベル4 「 十分に満たしている 」
観点7 レジュメと その使い方	レジュメ作成の基本的なルール、マナーが守られている。また、口頭説明の順序や内容・用語がレジュメと一致している。	レジュメ作成の基本的なルール、マナー(読みやすい書体・大きさの文字で簡潔に書く、文字や図表などを見やすく配置する、参考文献の出典を明記する等)が守られていない。	レジュメ作成の基本的なルール、マナーが守られている。しかし、口頭説明の順序や内容・用語がレジュメと一致していない。	レジュメ作成の基本的なルール、マナーが守られている。また、口頭説明の順序や内容・用語がレジュメと一致している。	レジュメ作成の基本的なルール、マナーが守られていて、口頭説明の順序や内容・用語はレジュメと一致している。また、レジュメへの補足を口頭で効果的に加えるなどの工夫で、聴き手の注意や興味を喚起している。
観点8 発表時間 (時間配分)	時間や内容の時間配分に気を配りながら発表を行い、持ち時間を最大限有効に使っている。	時間や発表内容の時間配分にも配慮をしていない発表を行い、持ち時間を多く残している。あるいは持ち時間を超過している。	時間や内容の時間配分に気を配りながら発表を行ったが、持ち時間がやや残っている。あるいは、持ち時間をやや超過している。	時間や内容の時間配分に気を配りながら発表を行い、持ち時間を最大限有効に使っている。	時間や内容の時間配分に気を配りながら発表を行い、持ち時間内に発表を終えられるよう、説明をさらに付け加えたり、省略したりするなど、持ち時間に併せて発表内容を調整している。